

誕生「高知龍馬空港」

愛称化の取り組み

―はじまり―…署名活動

平成14年11月

土佐経済同友会など県内約20の経済団体などにより、【愛称「高知・龍馬空港」を実現する会】(以下「実現する会」という。)発足。

平成14年3月完成の高知空港ビル増築落成、平成16年2月の滑走路延長2,500m化を好機とし、高知県が輩出した維新の英傑であり、全国に熱烈なファンも多いことはもとより、航空路線図の航路上、室戸岬沖に「RYOMA POINT」との表示もあるなど、まさしく高知の空港に相応しい「龍馬」を高知空港の愛称とし、高知県の情報を発信して、観光振興と交流人口の増大を目指すことを設立の趣旨とする。

あわせて、愛称化の署名活動も全国龍馬社中などにより、全国で繰り広げられる。

平成15年4月

実現する会から、6万4千人の署名が高知県知事に提出され、愛称化への協力を求められる。最終的には7万人を超す署名が集められる。

平成15年6月

実現する会から高知県議会議長及び高知県知事あてに、「高知龍馬空港」という愛称の活用支援についての請願書が提出され、委員会で採択される。

―高知龍馬空港活用促進連絡会議の発足―

平成15年7月

実現する会を中心に、高知空港ビルや行政機関なども加わり、【高知龍馬空港活用促進連絡会議】(以下「連絡会議」という。)発足

以降、坂本龍馬の生誕日であり、また命日でもある11月15日の愛称化に向けて、各種事業やPRに取り組んでいく。

平成15年8月

高知県知事が記者会見において、平成15年11月15日から「高知龍馬空港」の愛称を用いていくことを表明する。

平成15年11月15日

「高知龍馬空港」誕生。連絡会議を中心に、高知龍馬空港、羽田空港、伊丹空港、名古屋空港において、誕生記念イベントが開催される。羽田空港では、南国土佐を代表する祭りである「よさこい祭り」で有名な「ほにや」による、「よさこい鳴子踊り」なども披露される。



—1周年記念イベントの実施—

平成16年11月15日

連絡会議を中心に「高知龍馬空港誕生1周年記念イベント」実施
高知龍馬空港から龍馬ゆかりの史跡、施設などに無料巡回バスを運行する。

—連絡会議の解散—

平成17年11月15日

当初の目的は達成されたため、「高知龍馬空港」誕生2周年をもって、連絡会議は解散される。



えがいて夢、たずねてロマン



高知龍馬空港

KOCHI RYOMA AIRPORT